学校番号	410

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	使用なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

感じ取ったことからイメージして作品を制作する「絵画・彫刻」、目的や機能から考えて作品を制作する「デザイン」、美術作品のよさや美しさを理解する「鑑賞」の分野について学習します。形体・色彩などについて着目し、表現方法についての理解をもとに創造的な表現を深めていきましょう。また、作品を通して自己の思いを伝えたり、他者の制作意図を理解したりする感性を養いましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・制作に意欲的に取り組んでいる。 ・多様な表現と美術作品への興味を持っている。	・想像力を働かせ、アイデアを構想している。 ・表現方法を生かした個性豊かな表現の構想を練っている。 ・目的や機能を考慮してデザインを考えている。	・対象を正確に捉える描写力を持っている。 ・色やデザインの効果を考えた作品づくりを行っている。 ・表現技法を理解し、創造的な制作に活用している。	・作品のよさや美しさを感じ取っている。 ・美術作品を通して作者の表現の意図を理解しようとしている。 ・美術への知識を深めている。
評価方法	・作品制作の様子 ・振り返りのプリントへの記入	・作品制作の様子 ・アイデアスケッチ ・提出作品	・提出作品 ・作品制作の様子	・合評会でのプレゼンテーション ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	観察と描写	・オリエンテーション 【絵画】 ・人物クロッキー	○ ○		○		a:モチーフの見え方に興味を持ち、描こうとしている。 c:形体を正確に捉え、量感・動勢などを表現しようとしている。	提出作品 振り返りのプリントの記入 クロッキー 作品制作の様子
	文字とデザイン	【デザイン】 ・混色 ・レタリング ・文字のデザイン 【観賞】 ・合評会	○ ○	○	○ ○	○	a:色の与える印象や効果について興味をもっている。 a:字体について理解を深めている。 b：色や形などデザインの効果を生かした表現の構想を練っている。 c:配色や混色について、意図や目的に応じた表現をしている。 c:丁寧な着彩で作品を仕上げている。 d:生活の中におけるデザインの効果について理解を深めている。	提出作品 ワークシート 作品制作の様子 合評会でのプレゼンテーション
2	透視図法と油彩表現	【絵画】 ・一点透視図法と二点透視図法 ・油彩(静物画)表現 【鑑賞】 ・観賞会	○ ○ ○	○	○ ○	○	a:視点によって対象物の見え方の違いがあることに気づき、興味を持って描写に取り組んでいる。 b:モチーフの配置や色彩を工夫して表現している。 c:油絵具の使い方を理解して表現している。 d：作品のよさや美しさを感じとり、なぜそのように感じるかを説明できる。	提出作品 振り返りのプリントの記入 作品制作の様子 ワークシート
3	量感の表現	【彫刻】 ・木彫による表現	○	○	○		a:塊からか形を掘り出す面白さに気づいている。 b:素材や表現形式から、個性豊かな表現の発想をしている。 c:適切な道具の扱いと素材の特性を生かした表現をしている。	提出作品 ワークシート 作品制作の様子 合評会でのプレゼンテーション

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。